

下記のイベントに参加してくださった皆様

AYA week 2026 プレイベント

「運動と栄養チームプレゼンツ カラダ見える化ラボ」

「がん悪液質予防のための活動量評価と栄養介入の検討」 の研究へのご協力をお願い

承認日：2026年6月26日（第1版）

目次

研究協力をお願い	1
医学系研究について	2
研究の概要	2
この研究の背景について	2
1. 試料・情報の利用目的及び利用方法	2
2. 利用する試料・情報の項目	2
3. 利用を開始する予定日	2
4. 試料・情報を利用する機関の名称及びその長の氏名	3
5. 利用する試料・情報の取得の方法	3
6. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	3
7. 情報の利用の停止	3
8. 情報の利用の停止を伝える方法	3
9. 研究資金と利益相反（企業等との利害関係）について	3
10. 相談窓口	4

研究協力をお願い

常葉大学 健康プロデュース学部 健康栄養学科において上記研究課題名の研究を行います。この研究は AYA week 2026 のプレイベント「運動と栄養チームプレゼンツ カラダ見える化ラボ」に参加された方のデータを用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただき、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は 10.の問い合わせ先へご連絡ください。

人を対象とする生命科学・医学系研究について

人を対象とする生命科学・医学系研究は、生命科学・医学及び医療技術の進展を通じて、国民の健康の保持増進並びに患者の傷病からの回復及び生活の質の向上に大きく貢献し、人類の健康及び福祉の発展や新しい産業の育成等に重要な役割を果たしています。

これから説明する生命科学・医学系研究は、国が定めたルールに従って行われ、参加される方が不利益を受けないよう、常葉大学倫理審査委員会※により十分検討されて承認され、研究機関の長により実施が許可されています。

※倫理審査委員会：

研究の実施や継続について、医療や法律の専門家や一般の立場の方々により倫理的および科学的な観点から中立的かつ公正に審査を行う委員会です。

研究の概要

承認番号： 2026-004H

研究期間： 機関の長の許可日～西暦 2029 年 6 月 30 日

研究責任者： 常葉大学 健康プロデュース学部 健康栄養学科 腰本さおり

本研究は常葉大学倫理審査委員会の承認及び機関の長の許可を得て実施されています。

この研究の背景について

低栄養の状態にあると、がんの手術や薬物療法の副作用に耐えるだけの十分な体力を維持できないことや、感染症を発症して入院期間が長くなる可能性があることが報告されています。そのため、低栄養を予防し、早めに改善することがとても大切です。最近は栄養だけでなく、筋肉を維持するための活動（運動）も治療効果に影響することがわかってきました。栄養が不足していたり、体を動かす機会が少なかったりすることが、がん悪液質（食欲不振と筋力低下を特徴とした全身性の炎症）や、サルコペニア（筋肉量・筋力が低下した状態）になることと関係している可能性があるといった報告もあります。しかし、まだはっきりとしたことはわかっていません。

我々は、AYA week 2026 プレイベント「運動と栄養チームプレゼンツ カラダ見える化ラボ」に参加した方を対象にした運動・栄養のアンケート調査と体組成測定を行いました。本研究では、これらのデータを二次的に解析し、体組成と活動量は関係するのか、栄養への意識と体組成は関係するのか、がん悪液質は関係するのかなど、探索的に調べます。本研究は、栄養と運動に関連するあらたな側面に目をむけ、治療中の患者さんや治療が終了した方に必要なサポートを充実させることにつながります。

以下に資料、情報の取り扱いについて記載します。

1. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究では、これまでの研究で得られたデータを二次的に解析し、活動量、食事量、体組成と運動への関心・栄養への関心の関係や背景要因を探索的に調べます。

2. 利用する試料・情報の項目

- ・アンケートの回答内容：年齢、病歴、活動量、食事量、運動への関心度、栄養への関心度など
- ・体組成の結果：BMI（Body mass index）、筋肉量、水分量、基礎代謝量など

3. 利用を開始する予定日

2026 年 7 月 1 日頃（倫理委員会承認後）

4. 試料・情報を利用する機関の名称及びその長の氏名

常葉大学 学長 安武伸朗

5. 利用する試料・情報の取得の方法

AYA week 2026 プレイベント「運動と栄養チームプレゼンツ カラダ見える化ラボ」のアンケートは、無記名であり、データは個人を特定できないように加工した状態となっています。個人を特定する情報は収集しません。紙の情報はコピーするか、スキャンして電子ファイルにするか、新たに表などにまとめ直して使用します。体組成の情報は本研究用のハードディスク等にコピーします。アンケートの回答は、常葉大学栄養サポート研究室で厳重に保管します。データは、研究終了後に個人が特定できないように加工したまま廃棄いたします。データは、常葉大学で論文等の発表後 10 年まで保管いたします。保管期間終了後、紙媒体はシュレッダーで裁断し、電子記録媒体は物理的・電子的に読み取れない状態にして廃棄いたします。

6. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

常葉大学 健康プロデュース学部 健康栄養学科 腰本さおり

7. 情報の利用の停止

もし、本研究への情報の利用を希望されない場合は、お申し出いただければ、あなたのデータの利用は行いません。その際は、AYA week 2026 プレイベント「運動と栄養チームプレゼンツ カラダ見える化ラボ」でお渡しした番号をお知らせください。番号が不明の場合は、その利用を停止することはできません。

8 情報の利用の停止を伝える方法

10. の相談窓口「研究への協力（データ利用）を中止したい」旨をお伝えください。ただし、すでに本研究の成果を学術誌等に論文として投稿または公表された後の申し出については、研究の性質上、情報の削除や利用停止の対応を行うことができない場合がございます。

9. 研究資金と利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われなかったのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究の資金源は、科研費（研究番号 23K10970）です。本研究の実施にあたっては、利益相反はありません。

10. 相談窓口

研究についてわからないこと、心配なことがありましたら、相談窓口にお問い合わせください。
（現時点で特定されていない研究内容については実施が未定のため、他の方の個人情報については個人情報保護

のため、知的財産については知的財産保護のため、お答えできないことをご了承ください。)

研究責任者：腰本さおり（常葉大学 健康プロデュース学部 健康栄養学科 准教授）

【連絡先】常葉大学 健康プロデュース学部 健康栄養学科 栄養サポート研究室

〒431-2102 静岡県浜松市浜名区都田町 1230 番地

053-428-7761（ダイヤル）（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

【苦情窓口】常葉大学 浜松キャンパス

〒431-2102 静岡県浜松市浜名区都田町 1230 番地

053-428-3511（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）